



# ファエンツァ市

## 姉妹都市提携40周年



市のシンボルとして広く親しまれる時計台がひときわ目を引く中央広場。隔年で開かれるイタリア最大の陶器祭り「アルジツラ」は、ヨーロッパ各国からの人々にぎわいます。今年、本市と姉妹都市の盟約を結んで40年の節目を迎えました。今特集では、両市の姉妹都市のあゆみをご紹介します。

【図】 秘書広報課（内線613）



建物の壁面に陶板で描かれた壁画



**フ** アエンツァ市は、イタリア北部エミリア・ロマーニャ州の州都ボローニャ市から南東、アドリア海寄り約50kmに位置し、人口6万人弱の土岐市と同じくらいの規模の都市です。古くからマジヨリカ陶器の産地として世界的に有名で、「ファエンツァ」の語源も陶器の名前から来ていると言われています。市内には著名な陶芸家を多数輩出している国立陶芸美術大学やヨーロッパ随一の陶磁器収蔵を誇る国際陶芸博物館など、ヨーロッパ陶芸界の中心施設があり、豊かな文化と紀元前180年に遡る古い歴史を持ちます。

**姉** 妹都市提携のきっかけは、昭和54年、水野沖三市長（当時）がファエンツァ市出身の国際的な陶芸家であるカルロ・ザウリさんの仲介によりファエンツァ市へ姉妹都市提携を申し入れ、ロンバルディ市長（当時）から快諾を得たことに始まります。そして、同年、

- ① 両市の陶磁史理解のための交流
- ② 古陶器の交換展開催
- ③ 陶磁関係学生の交流
- ④ 両市の陶磁関係講演会の相互開催
- ⑤ 現代陶磁産業およびデザインの交流

を掲げて両市による盟約式が

## 世界的な陶芸都市 ファエンツァ

行われ、姉妹都市提携が正式に結ばれました。その後40年間、両市は展示会の開催や使節団の相互派遣などを通して交流を深めてきました。



マジヨリカ陶器の絵付けをする職人



マジヨリカ陶器



カルロ・ザウリさん



# 40年の歩み



1 ロンバルディ市長と水野市長が両市において盟約式でサイン



2 ファエンツァ市から来た市民交流団員から本場イタリア料理を学ぶ土岐市民



3 土岐市で開かれた土岐・ファエンツァ交換写真展



4 ファエンツァ市の陶芸家が土岐市で作陶



5 昨年、ファエンツァ市を訪問した土岐市使節団との記念撮影

- 昭和54年 ファエンツァ市・土岐市での盟約式 **1**
- 昭和55年 土岐ファエンツァ友好協会設立
- 昭和56年 ファエンツァ市派遣団来市 **2**
- 昭和57年 土岐・ファエンツァ新鋭陶芸作家展および姉妹都市提携3周年記念 イタリア祭を土岐市で開催
- 昭和58年 姉妹都市友好市民講座「イタリア家庭料理」を土岐市で開催
- 昭和60年 ファエンツァ市副市長来市
- 昭和61年 陶芸家カルロ・ザウリさん歓迎会を土岐市で開催
- 平成元年 姉妹都市提携10周年記念事業  
ファエンツァ市派遣団来市
- 平成2年 土岐市中学生親善欧州派遣使節団がファエンツァ市訪問
- 平成3年 '90日本現代陶彫展入賞陶芸家湯木兵輔さんをファエンツァへ派遣
- 平成4年 ファエンツァ市陶芸家ジョバンニ・チマッティさんを招待
- 平成5年 セラトピア土岐にて現代イタリア陶芸展開催
- 平成6年 ファエンツァ市長からの親書が届く
- 平成7年 姉妹都市提携15周年記念 市制40周年記念「ファエンツァの風」展を土岐市で開催
- 平成9年 第50回ファエンツァ国際陶芸展視察のため土岐市長を団長とする視察団がファエンツァ市を訪問
- 平成13年 FAENZA in photo TOKIー土岐・ファエンツァ交換写真展ーをファエンツァ市庁舎で開催  
土岐市長がファエンツァ市訪問
- 平成14年 TOKI in photo FAENZAー土岐・ファエンツァ交換写真展ーを土岐市で開催 **3**
- 平成15年 土岐・ファエンツァ交換写真集発刊のため、土岐市民代表3人がファエンツァ市を訪れ、街や風景や人を撮影
- 平成16年 土岐イタリア庭園施工のため、ファエンツァ市造園関係職員5人が来市
- 平成17年 ファエンツァ市民団が来市
- 平成19年 土岐市民団がファエンツァ市訪問
- 平成22年 ファエンツァ市ジョバンニ・マルペッツィ新市長へメッセージ送付
- 平成23年 ファエンツァ市長から土岐市加藤靖也新市長へメッセージが届く **4**
- 平成26年 姉妹交流35周年事業 ファエンツァ市陶芸作家展を土岐市で開催
- 平成30年 土岐市長がファエンツァ市長を表敬訪問  
イタリア最大の陶器祭り「第6回アルジツラ」に土岐市の陶芸家6人が参加 **5**

## ファエンツァくらしの風景



アルジツラに来たお客に美濃焼の説明をする日本の陶芸家。



ファエンツァで活躍する陶芸作家の工房。マジオリカ陶器などさまざまな作品が作られる。



市内で有名なギャラリーに展示されている壺。明るく鮮やかな色彩が目を引く。



ファエンツァ市内にある書店。雑誌や図鑑などさまざまな書籍が並ぶ。



イタリアの郷土料理「ピアディーナ」を作る男性。広場は大勢の人でにぎわっている。



週末に開かれるマーケット。新鮮な果物や野菜がずらりと並ぶ。



# ジョバンニ・マルペッツィ ファエンツァ市長 土岐市へ来訪



昨年、土岐市長をはじめ土岐市の使節団がファエンツァ市を表敬訪問しました。今年、ファエンツァ市から市長をはじめ使節団が11月中旬に土岐市を訪れ、市内の陶磁器関連施設や市内のイベントをご覧になる予定です。

18日(月)には、両市長出席のもと、姉妹都市40周年記念式典が開催され、その後12月1日(日)まで下記のとおり「ファエンツァ陶芸作家展」が開催されます。同作家展は、イタリア国内やヨーロッパでも著名な作家の作品を展示するほか、両市の姉妹都市交流の歴史の紹介、ファエンツァ市の映像紹介などを行います。皆さんのお越しをお待ちしています。



## 姉妹都市提携40周年記念 ファエンツァ陶芸作家展

11月18日(月)～12月1日(日)  
午前9時～午後5時 ※18日のみ10時30分～  
市役所1階 多目的ホール



田中志保さん(土岐市在住)  
フィレンツェに13年間滞在・陶芸家

まさに、陶器のまち

ファエンツァ市を初めて訪れたのは、世界的に有名な国際陶芸博物館を見るためでした。車での道中、麦畑を眺めながら小高い山を抜けてファエンツァ市内へ。自然が多く田舎まちという印象でした。市街地に入ると石造りの建物が並び、歴史を感じさせる雰囲気。お目当ての博物館は、白い壁に蔭が這った外観で、中には世界各国の陶芸作品や美術品が展示されていてとても刺激的でした。そして忘れてはいけないのが、イタリア最大の陶器祭りアルジッラ。市内都市部がまるごと会場になって、世界各国からさまざまな陶芸作品が集結。そこでろくろの技術を競う大会が開かれ、私も友人と一緒に出場したことが思い出です。ファエンツァ市はまさに陶器のまちだと思います。



国際陶芸博物館

## この人に聞く イタリアの ファエンツァ市

土岐市を大切にしてくれるまち



田中暁子さん(土岐市在住)  
ローマに15年間滞在・伊語教室講師

「土岐市を愛している」。ファエンツァ市姉妹都市委員会副委員長カルラさんの言葉は、私の心に今も強く残っています。ローマで世界遺産のガイドなどをし、イタリア人男性ガブリエルさんと結婚。帰国後は、市内で伊語教室を開いています。ローマ滞在中にファエンツァ市に行ったことはなかったのですが、姉妹都市35周年記念事業でファエンツァ市のお客様を迎える役目をいただきました。その時に会ったのがカルラさん。その後、教室のメンバーとファエンツァ市を旅した時にもカルラさんと会うことができ、ワイン工場の方やレストランの方からも歓迎されました。ファエンツァ市に住む人の温かさ、そして土岐市を大切にしてくれていることを、肌で感じました。



左下がカルラさん

## 美味なまち



ナオミ・フォスキさん(岐阜市在住)  
イタリア料理店を経営  
(エミリア・ロマーニャ州  
カトリカ市出身)

イタリア・カトリカ市で生まれ、日本人男性と結婚。今は岐阜市でイタリア料理店を営んでいます。今年2月に土岐市の肥田公民館で土岐市の方や在住外国人の方とスパゲティを作って食べるなど国際交流を楽しみました。

ファエンツァ市や私の故郷があるエミリア・ロマーニャ州は、おいしい料理も自慢。私のおすすめは、薄板状に伸ばした正方形のパスタをミートソースと層状に重ねてオーブンで焼いたラザーニャと、長方形に長く伸ばしたパスタをくるくる巻いてオーブンで焼き、クリームソースで味付けしたニードディロンディネ。伝統的な料理でとてもおいしいです。また、日本の身近なスーパードでも手に入る「タヴェルネッロ」は、ファエンツァのワインで、これもおすすめです。



取材時に通訳をくださった夫の高崎さん



タヴェルネッロ



ラザーニャ(手前)とニードディロンディネ(奥)